



# 山中魂

～正義 勇気 土根性～

新潟市立山の下中学校たより

令和5年11月10日発行

第16号 校長 武藤 雅雄

**11月2日 元気と感動を与えてくれた諸声祭**  
スローガン『合唱で奏でろ りゅーとぴあにゅーとぴあを』

## 諸声祭 実行委員長 高田

今年の諸声祭はどのクラスも全力を出し、よい合唱を創ることができたと思います。賞をとることも大切ですが、それ以上に大切なことは、「諸声祭までの過程」です。責任者やパートリーダーなどを中心に、話し合い活動をする中で、合唱がどんどんよくなっていきました。これからも少ない時間の中で、よりよい学校やクラスにしていきたいと思います。

## 3年生 諸声賞 1組 阿部

私たちが歌った YELL は、中学生の私たちの背中を押してくれるような歌です。この曲のよさを生かせる合唱ができるように日々練習してきました。その中で、各パートのバランスやテンポが速くなるなど、いろいろな課題がありました。課題を改善することは難しく大変でした。しかし、最高の合唱を創りたいという一人一人の思いが合唱をよくしていく上で、一番大きかったと思います。責任者として不安もあったし、うまくいかないこともありました。だけど、みんなが協力してくれたおかげで、日々の練習は楽しく、達成感もすごく、責任者をやって本当によかったです。本番でみんなが心をつにして歌い、今までで一番よい合唱ができたし、聞いている人にも YELL を送ることができました。私は諸声祭を通して、クラスの絆や団結が高まったことが、一番の成果だと思います。最後までついてきてくれた3年1組の皆さん、本当にありがとうございました。



### 3年2組

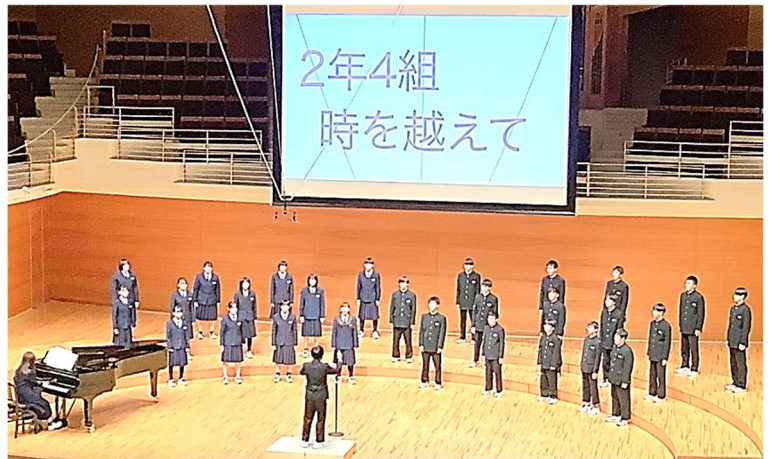


### 3年3組



### 2年生 諸声賞 4組 佐藤

私は、今までリーダーの経験がなかったため、合唱練習ではクラスをまとめるのに苦労しました。しかし、諸声祭が近づくにつれてクラスにも真剣なムードが流れ始め、クラス一丸となって練習に励みました。本番はクラス全員不安な気持ちがあったと思いますが、心を一つにし、今までで一番の合唱ができました。諸声賞をとることができて良かったです。この合唱を通して、リーダーというのはみんなが支えてくれるからこそできる仕事なのだと分かりました。皆さん、支えてくれてありがとうございました。



### 1年生 諸声賞 4組 清水

1年4組は、最初全体的に大きな声で歌うことができず、目標はいつも「大きな声で歌う」でした。しかし、練習を重ねるごとにだんだん声が大きくなっていきました。その後も、目標を具体的にしていきました。初めての諸声祭で不安なこともたくさんありました。けれど、パートリーダーが各パートをまとめてくれたり、先生がアドバイスしてくれたり、積極的に取り組んでくれる人が多くいたり、みんなが協力してくれたおかげで諸声賞がとれました。1年4組は団結力の強いクラスなので、これからもその団結力を大切にしていきたいです。

